



令和6年度第1回 龍ヶ崎市人口問題対策推進本部

〈少子化対策ワーキング会議結果〉

令和6年10月7日(月)

龍ヶ崎市総合政策部まちの魅力創造課

少子化対策ワーキング実施状況

少子化対策の方向性の整理

全4回

第1回ワーキング
R6.4.24(水)
R5年度取組み・少子化
の現状説明

第2回ワーキング
R6.6.20(木)
少子化対策に係る意見出し

第3回ワーキング
R6.7.26(金)
中期事業計画推薦事業
選定方法説明

第4回ワーキング
R6.8.21(水)
中期事業計画推薦事業選
定

1

一過性の経済的支援や、短期的(即効性)な事業だけでは、数年の間に同様の議論が繰り広げられる可能性が高い。そのため、**中長期的な視点ももって取り組む。**

2

事業を実施するにあたっては、新規事業としての企画立案はもとより、**既存事業の見直し(スクラップ)やリニューアルの視点**が肝要。

3

少子化対策は、市民の居住環境や子育てに対する満足度向上に繋がるものでもある。担当課のみが行うのではなく、**オール龍ヶ崎で行うという俯瞰した視点**が重要である。

少子化対策ワーキング会議顛末 (ソフト事業)

出会い・結婚



- マッチングアプリを活用した婚活支援

- オンライン相談(育児・小児科)
- 保育料の無償化
- 第三子を対象とした助成金
- 多子世帯を対象とした家賃補助
- シングルマザーの子ども預かり
- 扶養控除縮小に対する一部上乘せ
- インフルエンザワクチン接種費用の助成
- ハイハイレースなど民間と連携したイベント実施
- 不要になったおもちゃ、子供服等の譲渡会
- 有名人を使ったYouTubeで子育て情報の紹介
- 口腔保健の充実
- 5歳児健診の導入検討

子育て支援



妊娠・出産

- 卵子凍結助成
- 子ども授かりクーポンの配付
- 出産費用助成
- 産婦ケアの充実
- 不妊治療費助成(国県助成上乘せ、全額助成)
- 出産御祝い金+オリジナルグッズ

- 新入学・卒業祝金
- 小学校入学時にランドセルを支給(他市の事例)
- 小中学校の学校給食無償化(他市の事例)
- 放課後児童クラブの世帯収入を考慮した利用料の免除・軽減
- 学童保育ルームの見直し
- 小中学生向け龍ヶ崎の魅力について授業拡大
- 通学用ヘルメットを支給(他市の事例)
- たつのこライフデザイン事業
- 高校・大学の学費補助
- 奨学金返還支援制度

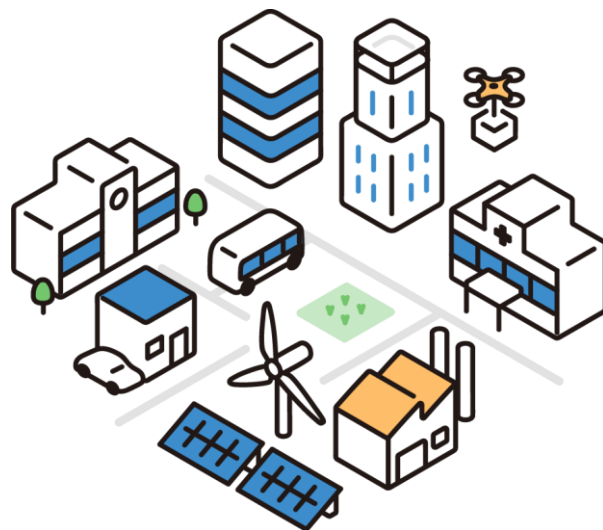


教育

少子化対策ワーキング会議顛末 (ハード事業・その他)

ハード事業

- 複合的な子育てカフェの開設
- 大規模な屋内遊び場設置
- 駅前に新たな住宅地の整備
- 児童館の設置
- 小児科誘致



- コミュニティバス利用の助成、無償化
- 大手企業誘致
- 駅前に商業施設の誘致

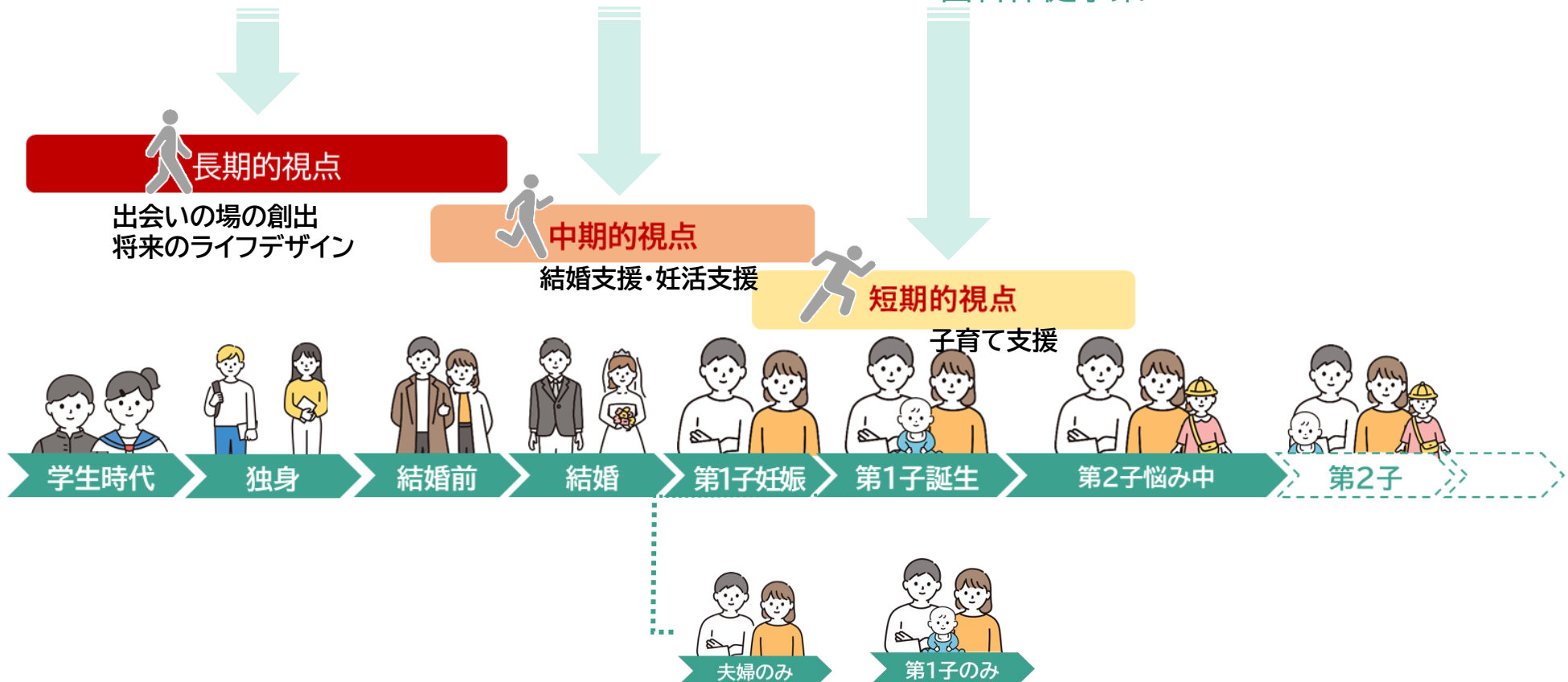
その他

少子化対策の方向性の整理

- ライフデザイン形成事業
- 若者恋活支援事業
- たつこのワクワクワーク

- 不妊治療費助成事業

- さんさん館休日運営充実事業
- こども家庭センター設置・運営事業
- 小児医療オンライン相談事業
- 歯科保健事業



少子化対策ワーキングR7年度中期事業計画推薦事業

ソフト事業

課名	提案事業
まちの魅力創造課	<p>【新規】 ライフデザイン形成事業 長期</p> <p>市内の中学2年生を対象に、自身の将来を考える際、進学や就業だけでなく、結婚・出産・子育てなどを含めて考えることで、なりたいこと(夢)、やりたいこと(目標)など具体化し、さらに本市での暮らしをイメージすることで、本市の魅力を変えて知り、シビックプライドの醸成を図る。令和7年度は2校から試行的にスタート。</p>
	<p>【新規】 若者恋活支援事業 長期</p> <p>若者の身近な出会いのツールであるマッチングアプリを活用することで、結婚を希望する若者が効率的にパートナーを見つけやすくなり、若者の未婚化・晩婚化対策、ひいては少子化対策に繋がることを目的としている。</p>
	<p>【縮小】 婚活支援事業</p> <p>未婚化・晩婚化の進行を抑制するには、比較的若い世代へのアプローチが必要であるが、これまでの登録者の年齢層を整理すると、40代・50代が多く見られ、ターゲットから外れることから、年齢制限を設けることとする。</p>
	<p>【拡充】 たつのこワクワクワーク 長期</p> <p>龍ヶ崎市内の事業者等と連携し、子どもたち向けの職業体験イベントを開催することにより、本市へのシビックプライドの醸成や子どもたち(若者)の活躍促進に繋げる。現在、15事業者250名規模の事業をR7年度は20事業者300名に拡充する。</p>

少子化対策ワーキングR7年度中期事業計画推薦事業

ソフト事業

課名	提案事業
こども家庭課	【新規】 不妊治療費助成事業 中期 令和4年4月から不妊治療が保険適用となったが、それでもなお不妊治療費は高額であるため、子どもを望む方へ自己負担の軽減を図り、不妊治療(体外受精・顕微授精・先進医療)や、男性不妊に対する助成を行う。
	【新規】 さんさん館休日運営充実事業 短期 現在、月に1度午前中のみ開館しているさんさん館子育て支援センターの休日運営を充実させ、子育て中の親子が地域で安心して子育てができるよう、拠点整備や支援サービスの充実を図る。
	【継続】 こども家庭センター設置・運営事業 短期 子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点を一体化したこども家庭センターを設置し、妊娠・出産・子育てに関する相談に応じ、子育てに必要な情報提供や助言を行い、子育て世代に対して包括的な支援を実施する。
医療対策課	【新規】 小児医療オンライン相談事業 短期 小児医療オンライン相談の導入により、子育て中の保護者が子どもの急な体調の変化に際し、医療機関受診の要否の判断や、日常の不安や疑問を解消するための支援を行うことを目的とし、併せて医療機関の適正な受診につなげることに寄与できる。
健康増進課	【継続】 歯科保健事業 短期 新保健施設の2階スペースを利用し、ロツテ商品を使って、噛む力の形成や歯科医師会と連携した歯科相談やグッズの配付。フッ化物洗口と子ども向けイベントの実施。

少子化対策ワーキング 中長期事業(検討事項)

ハード事業

課名	提案事業
こども家庭課	新たな地域でのこどもの居場所づくり 本市が「安心してこどもを産み育てることができるまち」のイメージ定着を図ることを目的に、0歳から小学生までを対象とした大規模なこどもの居場所を設置し、本市の新たな子育て支援拠点を整備する。
	各地区コミュニティセンターでのこどもの居場所づくり 小学生を対象として、放課後等に自宅から徒歩圏内で通うことができる居場所づくりも重要である。市内13地区への児童館整備は財政的負担が大きいことから、各コミュニティセンター内のロビーや利用頻度が低い図書室を活用して、各地区におけるこどもの居場所を整備する。
	龍ヶ岡公園管理棟 1F でのこどもの居場所づくり(平日開館) 土日のみ開館しているこどもの屋内遊び場について、平日も開館することで、市域東部における子育て支援機能の拡充を図る。

※ 「新たな地域でのこどもの居場所づくり」については、中長期的な事業となるため、定住促進ワーキングに引き継ぎ、継続して検討していく。